

2011~2012 明石 3 種リーグ (U-15) 実施要項

1. 目的

- 兵庫県トップリーグの趣旨に基づき、すべてのチーム、選手がサッカーを楽しむために、明石市協会として「フレンドリーリーグ」を開催する。
- 「レベルの拮抗した長期的なリーグ」を目指し、日々の厳しい切磋琢磨から選手が育つような環境をつくることを狙いとする。

2. 名称 2011~2012 明石 3 種リーグ

3. 主催 明石市サッカー協会

4. 参加資格

- 明石市サッカー協会第 3 種に登録したチームであり、そのチームに登録されている選手とする。
- リーグ開催時に中学校に在籍しており、第 2 学年以下の選手に出場を認める。転入や新加入があった場合は、その都度登録することで、出場を認める。
- 選手は中学生に限る。女子選手も参加できる。
- 1 期を通じてリーグに参加できない可能性がある場合、リーグ開幕前に宣言すればオープン参加として 3 種リーグの日程と合わせて練習試合を行うことができる。
- オープン参加のチームの日程は、リーグ戦の調整がつくように決定する。
※オープン参加のチームの行事等での日程考慮はしない
※リーグ途中でのオープン参加への移行はできない。
- 服装、態度が中学生らしくない選手は出場を認めない。
※中学生らしくとは、各選手が在籍する中学校の校則に反しないことを指す。

5. 大会期間

- 2011 年 9 月~2012 年 3 月

6. 試合会場

- 試合会場は現在のところ下記の通りである。場合によって追加、削除する可能性がある。

明石市立大蔵中学校、明石市立野々池中学校、明石市立大久保北中学校、明石市立大久保中学校、明石市立江井島中学校、明石市立魚住東中学校、明石市立魚住中学校、明石市立二見中学校、明石市立望海中学校、ドリームステップグラウンド、明石海浜公園グラウンド

7. 試合形式

- 市内 15 チーム総当たり戦を行う。
※市内 15 チームとは明石市立朝霧中学校、明石市立大蔵中学校、明石市立衣川中学校、明石市立望海中学校、明石市立野々池中学校、明石市立高丘中学校、明石市立大久保北中学校、明石市立大久保中学校、明石市立江井島中学校、明石市立

魚住東中学校、明石市立魚住中学校、明石市立二見中学校、兵庫県立明石学園、リベルタ明石 FC、FC エスポルトを指す。(五十音順)

- ・原則として、開催日は土曜日(県トップリーグが日曜日開催のため)
※ただし、長期休業(冬・春休み)や祝日に関してはこの限りではない。
- ・トレセンデーをはじめとした、県トレ関係の行事のある日には原則的に試合を行わない。

8. 参加費 10,000 円

※オープン参加チームの参加費は徴収しない

9. 大会規定

◇競技規則

- ・2011 年度(財)日本サッカー協会制定の「競技規則」による。
- ・ボールは 5 号公認球を使用する。
- ・試合開始時に、片方のチームの出場可能選手が 7 人に満たない場合は、その試合は相手チームの不戦勝とする。(5-0)
- ・試合開始時に、両方のチームの出場可能選手が 7 人に満たない場合は、その試合は引き分け扱いとする。(0-0)
- ・試合途中で、片方のチームの出場可能選手が 7 人に満たなくなった場合は、その時点で終了、相手チームの不戦勝とする。(5-0)
※ただし、不戦勝となるチームが 5 点以上の差をつけていた場合は、得点は認め、失点は 0 とする。
- ・試合途中で、両方のチームの出場可能選手が 7 人に満たなくなった場合は、その時点で終了、引き分け扱いとする。(0-0)

◇選手登録及び選手交代について

- ・選手は明石市のサッカー協会に所属する選手であれば出場できる。市内リーグとして新たに登録する必要はない。
- ・選手交代に関しては 11 人を越えない範囲で、いつでも、何人でも、何回でもできることとする。(リ・エントリー制)
- ・選手交代用紙は使用しない。

◇試合時間

- ・試合時間はすべて 50 分 (25-5-25) とする。ただし、試合会場の使用時間に応じて、40 分(20-5-20)までなら変更を認める。
- ・延長戦および PK 戦は行わない。
- ・飲水タイムは原則として設けないが、その日の天候やその他の様子を見て、対戦チームと主審、会場責任者が判断して良い。
※特に対戦チームからの申し出がなければ、飲水タイムは設けない。
※飲水タイムにはタオルやおしぼり等は使用しない。

※水以外の水分（スポーツ飲料水等）も可とするが、会場で禁止されている場合はそれに従うこと。

◇審判について

- ・主審は基本的に対戦チーム以外の指導者が行う。副審は選手でも良い。ただし、両チームの合意がなされていれば、相互審判も認める。もちろん、各指導者は良識に基づいた判定を下すことが前提である。
- ・オープン参加のチームとの試合は相互審判で行う。ただし、両チームの合意ができていれば、それ以外の方法でもかまわない。
- ・審判の服装については、審判服が望ましいが、練習試合を兼ねる場合や、暑さや寒さの対策等も考え、各審判員が判断して良い。

◇ユニフォーム

- ・ユニフォーム規定に準ずるが、チーム事情により、そろわない場合は相手チーム、主審との話し合いにより、許容する部分がある。
※許容する部分とは、色、胸番号、アンダーの長袖、その他を指す。

◇警告・退場等

- ・リーグ期間中に、警告を2度命じられた選手は次の1試合に出場できない。
- ・試合中に退場を命じられた選手は、最低でも次の1試合は出場できない。
※その後の処置については、しかるべき検討を行い、決定する。
- ・原則として、警告・退場者ともに、他の大会や、次年度のリーグへの持ち越しはしない。
- ・オープン参加のチームとの試合に関しては、出場停止の1試合とは数えない。
※オープン参加のチームとの対戦には出場停止者も出場可能とする。
※ただし、チームとして出しても良いかどうかは考えること。

◇試合の消化について

- ・全節を2012年3月31日までに消化すること。消化できなかった場合は、そこまでの試合数および勝ち点で終了する。
- ・事前に指導者同士の話し合い及び合意ができていれば、中体連主催の大会の対戦をリーグ戦の1試合として使用してもかまわない。（ただし、その場合は事前に必ず選手に伝えておくこと）
- ・事前に指導者同士の話し合い及び合意ができていれば、協会主催の大会の対戦をリーグ戦の1試合として使用してもかまわない。（ただし、その場合は事前に必ず選手に伝えておくこと）